

宅建業者、一般消費者双方へ向けた空き家問題に関する意識の普及促進

事業を通して、利活用事例の情報収集や行政機関や大学とのネットワークなどの成果も

● 事業の目的

- 県内の身近な相談窓口として「管理・保存・活用」の推進活動を図り、空き家・空き地の所有者・自治会等の諸問題についての意識を高め、相談者の利便性向上を図ること

● 活動エリア

- 鹿児島県

● 実施事業の概要

- 事業①: 行政・大学・専門家による利活用ワークショップ
- 事業②: 所有者・事業者向け空き家・空き地セミナー
- 事業③: 所有者・事業者向け空き家視察研修

● 事業実施で得た成果

- 事業①関係: 17名参加。6事例について課題と解決策の方向性を整理。(事例は②のセミナーでも使用)
- 事業②関係: 160名参加。アンケートでは、知りたい内容として「空き家の管理・保存・活用」が特に多かった
- 事業③関係: 45名参加。現地視察以外に講演、意見交換を行ったことで、所有者と専門家の交流の機会が持てた
- 相談会相談件数17件、利活用物件数: 売却検討中13件、賃貸検討中2件、解体1件(検討中3件)、用途変更による利活用2件(検討中5件)

● 事業実施で得た課題

- 物件のコンディションや立地状況、相続など単年度では解決が難しい問題が改めて浮き彫りになった

● 構成事業者名及び役割分担(構成事業者名:担っている役割)

- (公社)全日本不動産協会鹿児島本部: 事業全体の統括、相談会への相談員派遣
- NPO法人結の夢来人・絆プロジェクト: セミナー、視察研修の企画・協力運営、ワークショップ参加、相談会相談員
- 鹿児島県土木部建築課: ワークショップ参加、セミナーの後援・協力支援
- (公財)鹿児島県住宅・建築総合センター: セミナーの広報・協力支援
- (一社)全国古民家再生協会: ワークショップ参加、セミナー講師
- 鹿児島大学大学院理工学域工学系理工学研究科: ワークショップ参加(コーディネーター)
- 各分野専門家(弁護士、司法書士、税理士、行制書士、建築士): ワークショップ参加、相談会相談員
- 環境開発コンサルタント: アンケートの集計・分析

利活用ワークショップ風景



空き家・空き地セミナー風景

